

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和4年1月6日(2022.1.6)

【公開番号】特開2020-86227(P2020-86227A)

【公開日】令和2年6月4日(2020.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2020-022

【出願番号】特願2018-222445(P2018-222445)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/08 3 2 2 C

G 0 3 G 21/00 3 7 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年11月25日(2021.11.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

現像器内相対湿度検出器3001は、現像器100内の相対湿度を検出する。一般に、現像器100内の相対湿度が変化すると、現像器100内のトナーの帶電量が変化し、現像工程で消費されるトナー量が変化する。したがって、現像器100内の相対湿度に従つて誤差補正を行う必要がある。現像器内相対湿度は、現像器内相対湿度検出器3001が現像器100内の相対湿度を直接検出した検出値であってもよく、現像器100の内部とは別の部位の温湿度にまつわる検出値から計算される計算結果であってもよい。本実施形態では、相対湿度検出手段としての現像器内相対湿度検出器3001は、現像器100の周辺の相対湿度を検出し、検出結果に基づいて現像器内相対湿度を算出する。現像器内相対湿度検出器3001は、現像器100又は別の構成要素に一つ又は複数設けられていてよい。現像器内相対湿度検出器3001によって検出された現像器内相対湿度は、誤差補正部2109へ入力される。誤差補正部2109は、現像器内相対湿度を所定期間分平均し、現像器内相対湿度の平均値 X_7 を算出する。